



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2013-2014 年度 No. 3 2

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2013-2014 年度 会長 水島政光、幹事 三角信行

2013-2014 年度 RI テーマ



「ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を」
(ロン D. パートン会長)

例 会 記 録

第 1 7 0 9 回例会

平成 2 6 年 2 月 1 9 日(水) よいとこ井波

1. 点 鐘 会長
2. ソング：四つのテスト



3. 会長の時間：本日は、暖かい日ですね。
4. 幹事報告：①小矢部 RC 創立 40 周年記念誌・会報受理(回覧)②来週 3 RC 合同例会・懇親会の案内配布。2 月 25 日(火)ふくみつ華山温泉。バス集合時間、17：10 エントランス庄川。17：15 井波交通広場。17：25 福野産業文化会館。例会：18：00。合同懇親会 18：30。③3 月 9 日小矢部中 RC 創立 30 周年記念式典、会長幹事出席予定。講演会は、田中作次直前 RI 会長で、聴講は自由、参加をどうぞ。④3 月 16 日は、PETS、いよいよ坂井年度の準備です。⑤例会後理事会。⑥国際ロータリー青少年親善交換学生の帰国報告(回覧)⑦例会変更：事務局に確認。
5. 委員会報告：①国際奉仕委員会(河合委員長)：書き損

じ葉書、15 日まで 258 枚集まり、11520 円になりました。国際 R 本部に送金しました。②親睦活動委員会(斎藤委員)：4 月 12 日観桜会の予定ですが、記憶によりますと創立 35 周年です。何か行事を行うのか、それにより準備したいと思います。③出席委員会：19 名中、14 名出席：73.68%

6. ニコニコBOX(SAA：本日 4 名)

河合会員：明日から伊勢神宮参拝です。日本造園組合連合会で献木するためです。造園感謝祭に出席します。

山本武会員：遅刻失礼しました。土日、名古屋で甥っ子の結婚式でした。雪で大変でした。

斎藤会員：申し訳ありませんが、本日も早退します。先生の卓話聞けなくて残念です。

中島会員：連日のメダリスト誕生で寝不足が続いています。今日は女子のショートプログラム、又、寝不足しそうです。



本日の花(河合会員提供)：①赤いバラ②カスミ草



卓話 「教如上人 制作の思い出」 横山豊介会員

横山豊介会員：私は、曾祖父・祖父・父と受け継いできた木彫刻を県外での大彫刻制作につなげる事ができました。大変幸せです。以前、防府天満宮の毛利公の作品の話をしましたが、今回は、ある時、急に飛び込んできた注文の話です。昭和 62 年、まだアトリエができるまえに、福岡のあるお寺から、日本産の楠の大木で、日本のどこにでもない立派な「教如上人」を彫ってほしいと言われました。そのお寺は、妙行寺といいます。

国産(宮崎産)のものは今では、楠の大木は欄間用に伐採をしたため、あまり残っていないくて、株の方で 40cm のものがせいぜいですが、当時は、直径 4 尺 8 寸の楠を確保でき、製材所のノコギリが使えず、手引きで 4 人交代で切ってもらいました。



教如上人の原型

当時、教如上人の姿は、城端別院の掛軸があり、それを見せてもらうしかありませんでした。重要文化財なので、借りるわけにはいかず、別院の社務所にかけてもらい、粘土でその顔を盗みとりしました。一番大事な顔の特徴をつかむため、自信のあった粘土を使いました。それから、知

り合いの僧の武種さんにモデルになってもらい、袈裟をきて、上人の着物姿の特徴をつかみました。依頼主からは、緋扇と数珠は本物を使うということでしたので、それを持つ手の指などの特徴もしっかり把握しました。

一般的に、彫刻作品は、円空上人の作品のように、彫刻の裏に名前や年号を書きます。私はこの大作のひび割れを恐れ、作品の下から繰り彫りあげて、名前と年号、落款を入れました。平成元年に完成しました。

依頼主の妙行寺は、福岡の中心地にあり、コンクリート造りのお寺さんで、私たちの井波にある木造のお寺に慣れているものにとっては、何となく物足りない、冷たい感じがするお寺です。しかし、その本堂に、この木彫刻の「教如上人」が安置されるとその冷たい雰囲気やを和らげています。

もともと、仏像を彫るには、楠の木が最適です。円空上人のように、木なら何でもいいという人もいますが、永く持つ木としては楠です。余談ですが、その時の原型から、小さい「教如上人」を彫りましたが、それは、城端別院から是非にという事で買い上げになりました。毎年、虫干し法要には、公開されます。

最近、祖父や父の作品を見てほしいと鑑定に来られます。昔、井波大火で焼失した井波彫刻の作品も多く、明治以前の作品は県外に掘り出されます。

私は、この「教如上人」を彫って感じたことは、作品は、実際に見て造るものだということです。掛軸あるいは、衣などなんでも、人の解剖図などもそうですが、勉強して作品が出来上がるものです。井波の若手の彫刻家には、もっともっと勉強をしてもらいたいです。私は彫刻の方に進んだけど、仏師になっていればまた違った作品を造ったかもしれません。人生 80 年は短いです。まだまだ、やりたい事がたくさんあります。この前、阪急百貨店で、富永直樹（1996 年 - 2003 年）の展覧会で 100 点の作品を並べていました。私も、100 歳に 100 点の作品を並べたいものです。過去に、北海道から九州まで、日本中に私の作品が行きました。最近、1-2 年かかりの大作が少ないです。まだまだ、彫ってみたいですね。

（資料）HP に掲載。教如上人（本願寺 12 代：織田信長に抵抗、石山本願寺にたてこもる。徳川家康のすすめで、東西本願寺分裂当時、大谷派：東本願寺を継承。）